

(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【資料4-4】

【バス利用者アンケート調査概要】

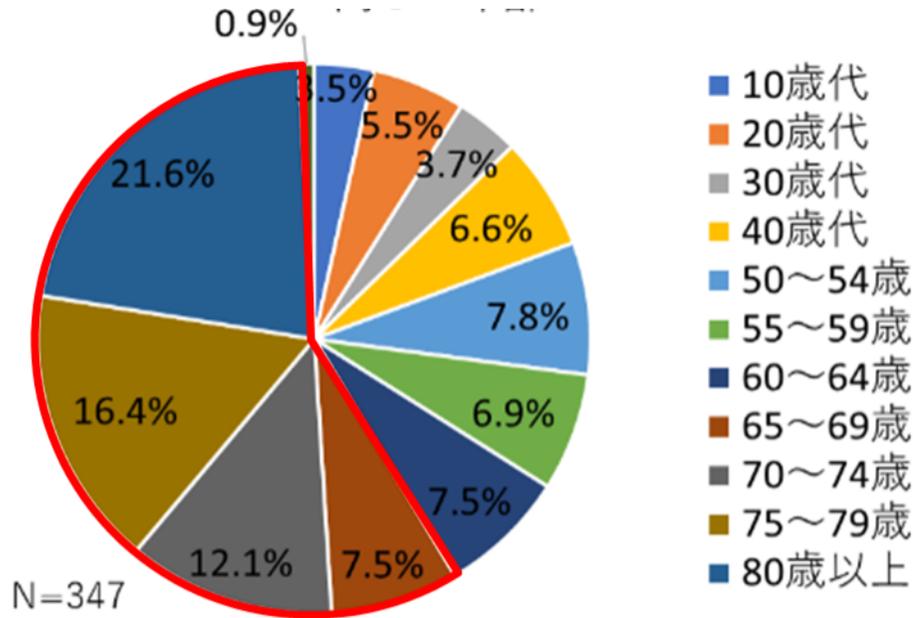
配布・回答時期	<ul style="list-style-type: none">アンケート配布：2022年7月15～25日回答期限：2022年8月5日
調査対象	<ul style="list-style-type: none">配布対象路線を利用するバス利用者（1人1部まで回答）
配布対象路線	<ul style="list-style-type: none">茨城交通の16路線 大沼社宅線、海端団地線、バイパス線、旧国道線、旧国道（十王）線、市内国道・海岸線、金沢団地線、塙山団地線、中丸団地線、堂平団地線、成沢団地線、日病・城南台線、高鈴台団地線、東河内線、レジャーランド線、南部地区線椎名観光バスの5路線 いぶき台団地循環線、ソーラーリゾート線、黒坂線、城の丘団地線、鶉の岬線
配布方法	<p><茨城交通の路線></p> <ul style="list-style-type: none">配布対象路線のバス車内（9～14時）及び対象バス停（日立駅、常陸多賀駅、大甕駅）にてバス利用者へ手渡し配布 <p><椎名観光の路線></p> <ul style="list-style-type: none">配布対象路線全便にてバス利用者へ手渡し配布（※同時にバス利用者乗降調査を実施）
配布数	<ul style="list-style-type: none">1,097票 配布内訳：茨城交通1,029票＋椎名観光バス68票
回収票数	<ul style="list-style-type: none">371票（回収率33.8%） 回収方法内訳：郵送回収336票＋Web回答35票 路線内訳：茨城交通347票＋椎名観光18票＋無回答6票

(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】①回答者属性（問3 年齢）

茨城交通路線の利用者

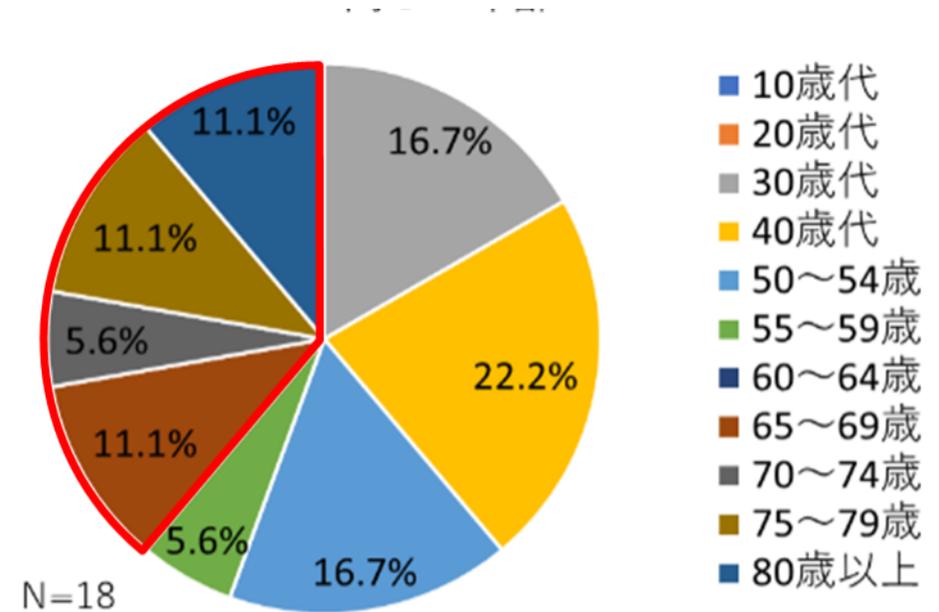
- 回答者の年齢構成は10～20歳代は8.9%、30～64歳が32.6%、65歳以上が57.6%



65歳以上
57.6%

椎名観光バス路線の利用者

- 回答者の年齢構成は10～20歳代は0%、30～64歳が61.1%、65歳以上が38.9%

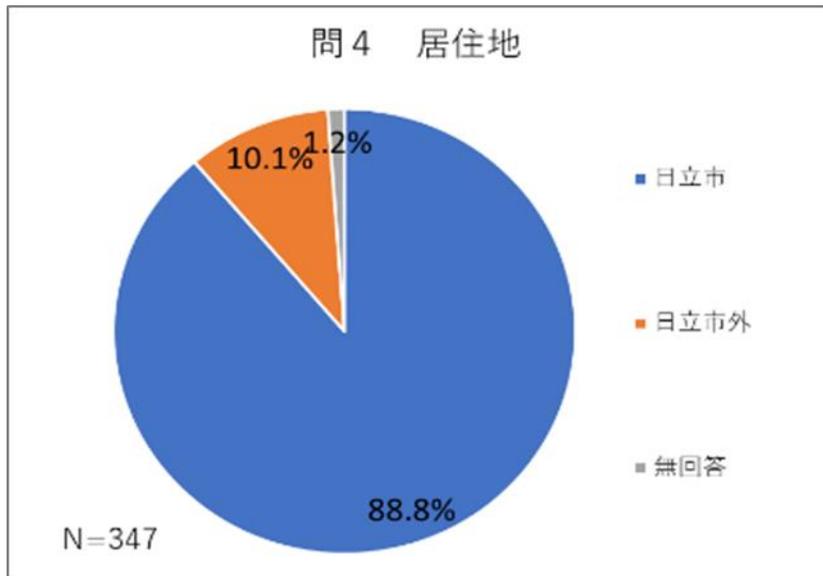


65歳以上
38.9%

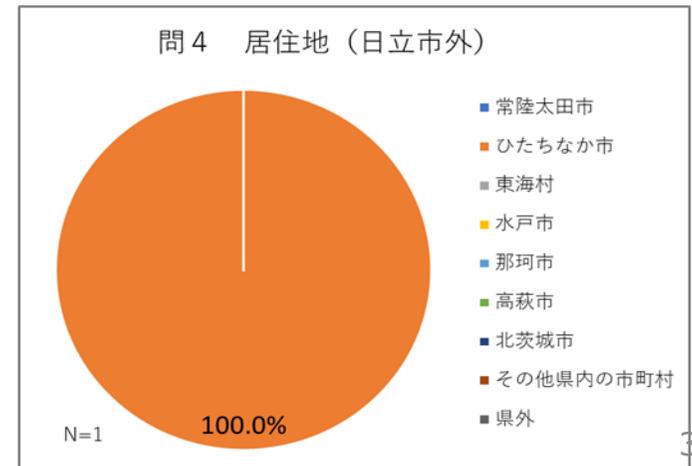
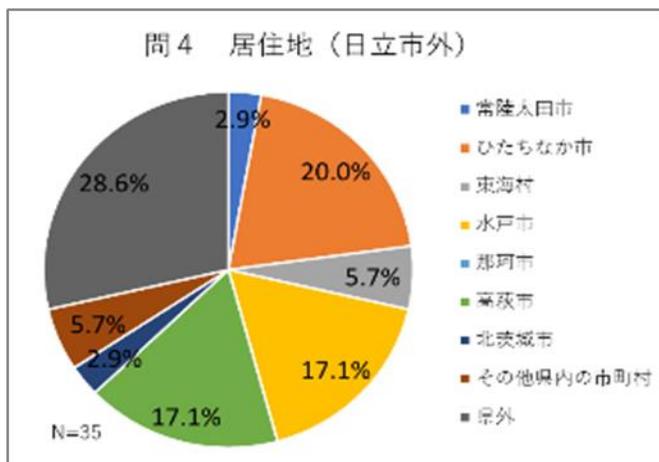
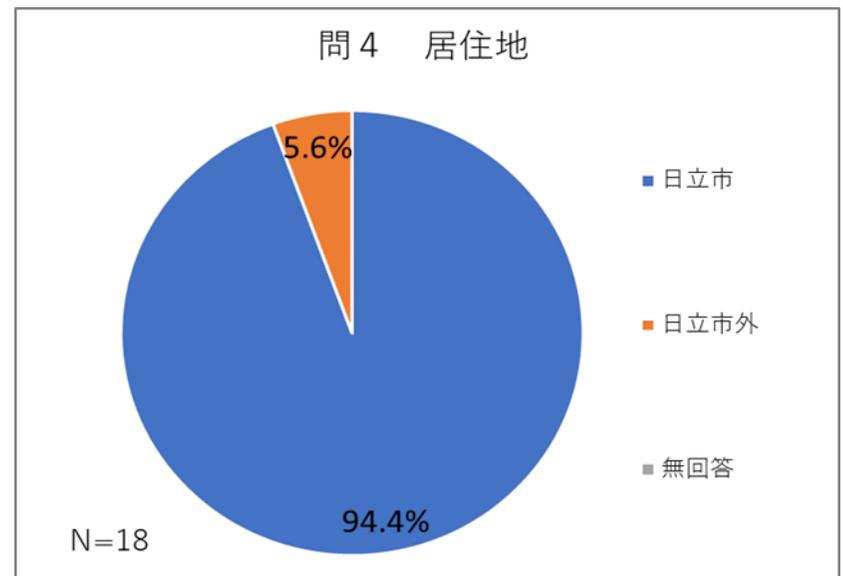
(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】 ①回答者属性（問4 居住地）

茨城交通路線の利用者



椎名観光バス路線の利用者



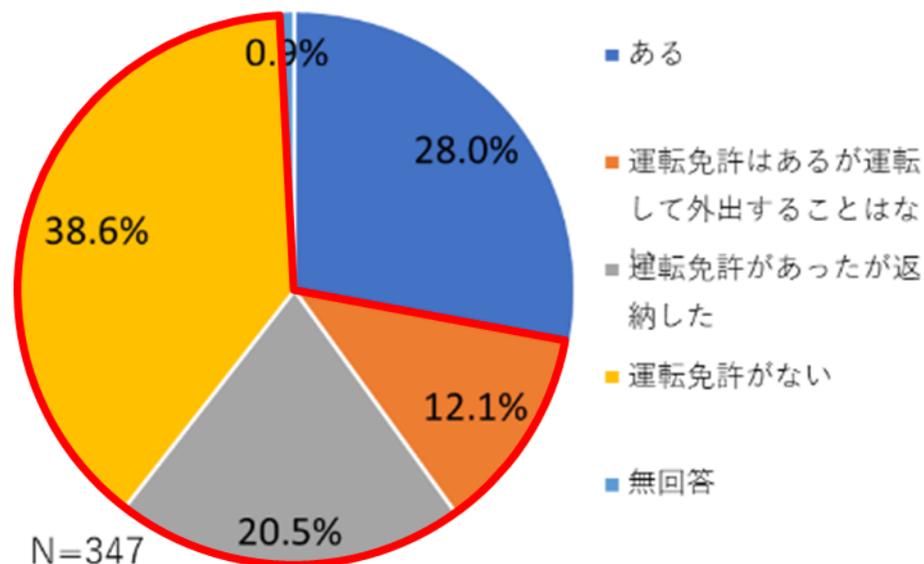
(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】 ①回答者属性（問6 普段、自分で運転して外出することがあるか）

茨城交通路線の利用者

- 回答者の71.2%は自分で運転しない（運転して外出しない+免許返納+免許未所持）

問6 運転状況

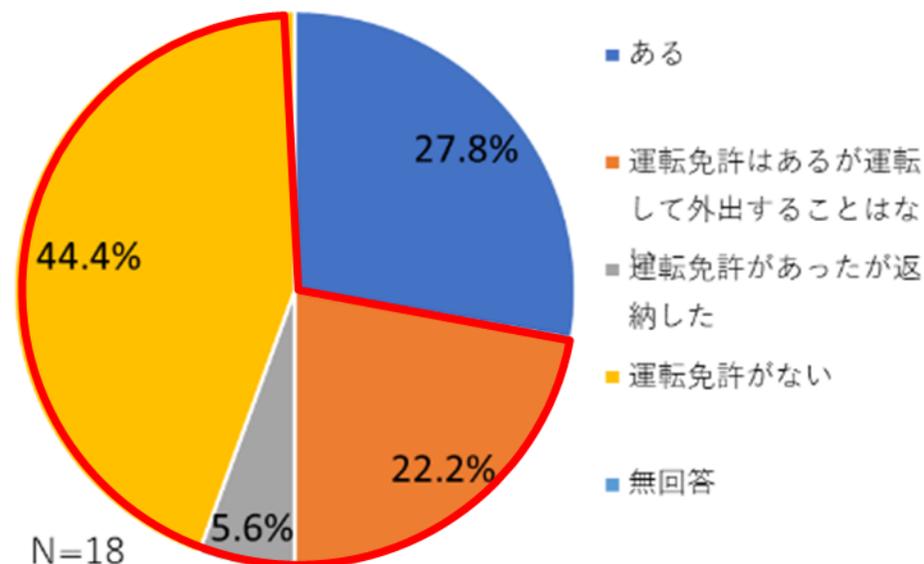


自分で運転しない
(運転して外出しない+免許返納した+免許なし)
71.2%

椎名観光バス路線の利用者

- 回答者の72.2%は自分で運転しない（運転して外出しない+免許返納+免許未所持）

問6 運転状況



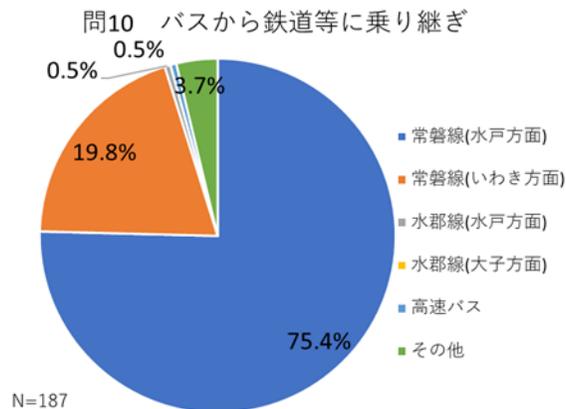
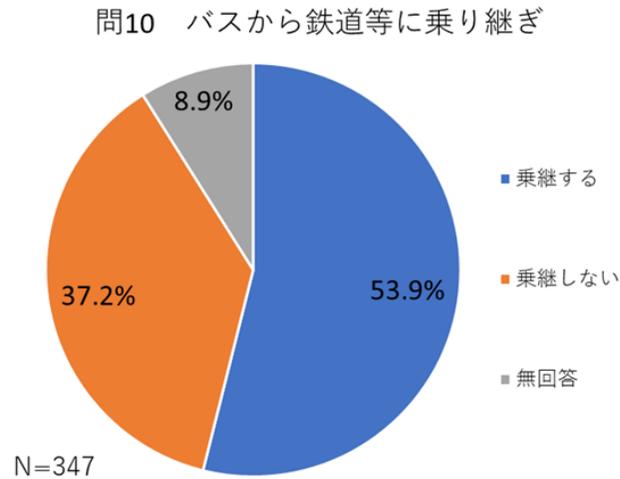
自分で運転しない
(運転して外出しない+免許返納した+免許なし)
72.2%

(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】②路線バスの利用（問10 バスから鉄道等に移り継いでいるか）

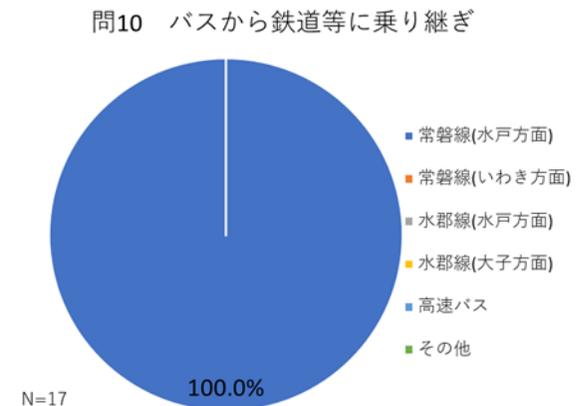
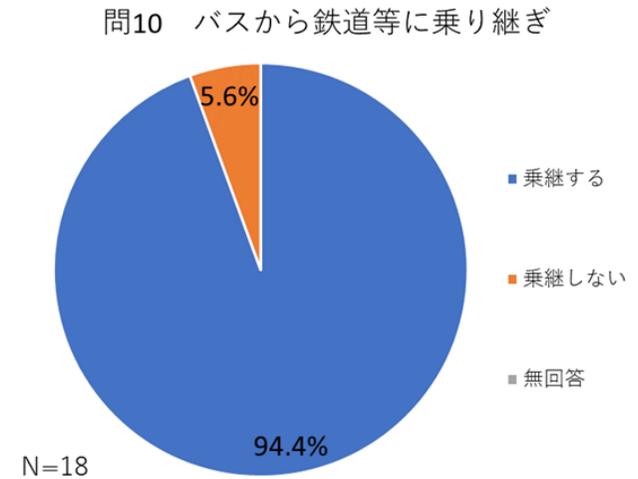
茨城交通路線の利用者

- 回答者の53.9%は乗継をしており、その内、乗継先は多い順に常磐線（水戸方面）75.4%、常磐線（いわき方面）19.8%



椎名観光バス路線の利用者

- 回答者の94.4%は乗継をしており、その内、乗継先は常磐線（水戸方面）100%

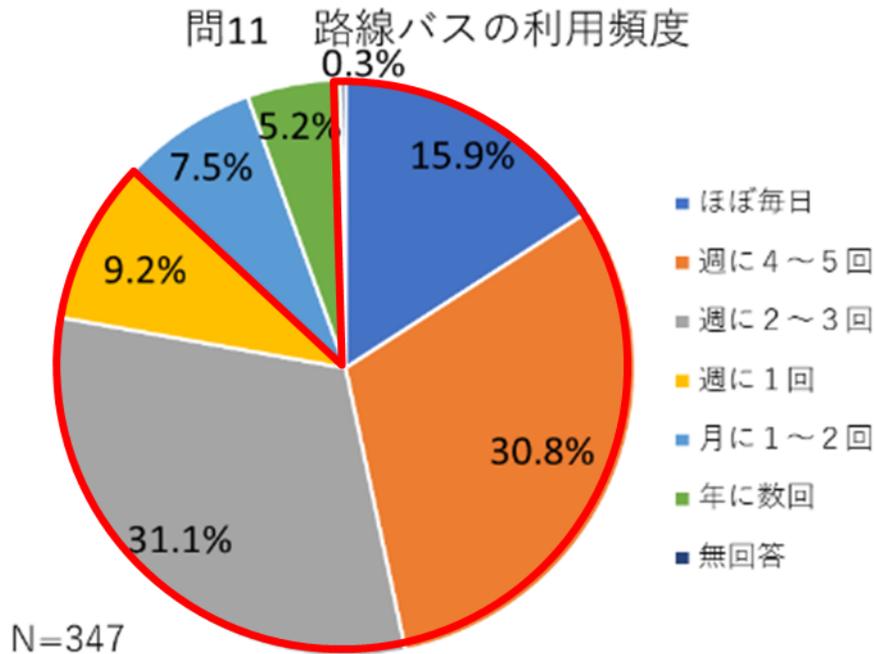


(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】 ②路線バスの利用（問11 路線バスの利用頻度）

茨城交通路線の利用者

- 回答者の利用頻度は、週に1回以上は87.0%（ほぼ毎日+週に4~5回+週に2~3回+週に1回）

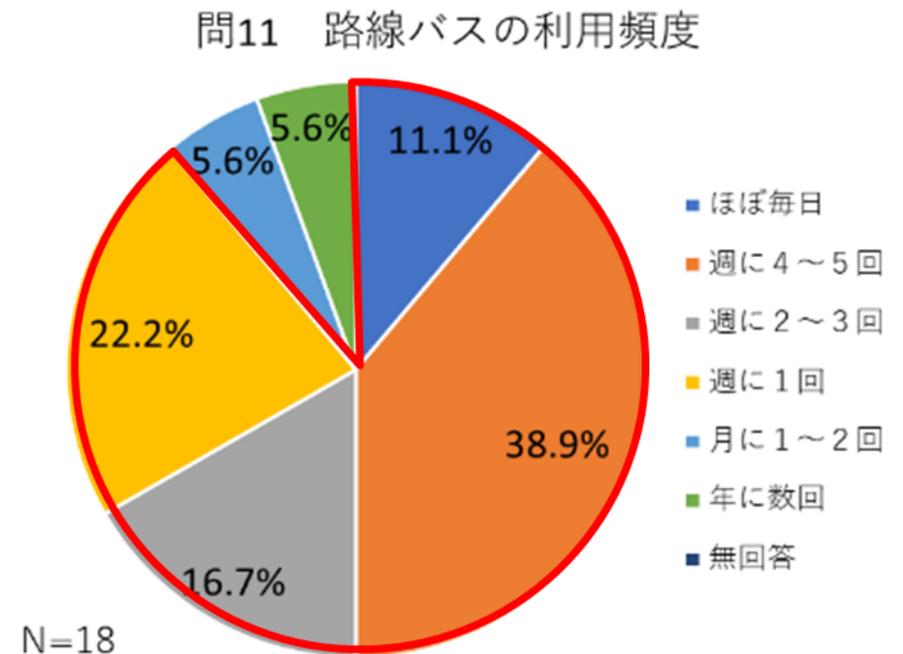


週に1回以上の利用
87.0%

((ほぼ毎日 + 週に4~5回 + 週に2~3回 + 週に1回))

椎名観光バス路線の利用者

- 回答者の利用頻度は、週に1回以上は88.9%（ほぼ毎日+週に4~5回+週に2~3回+週に1回）



週に1回以上の利用
88.9%

((ほぼ毎日 + 週に4~5回 + 週に2~3回 + 週に1回))

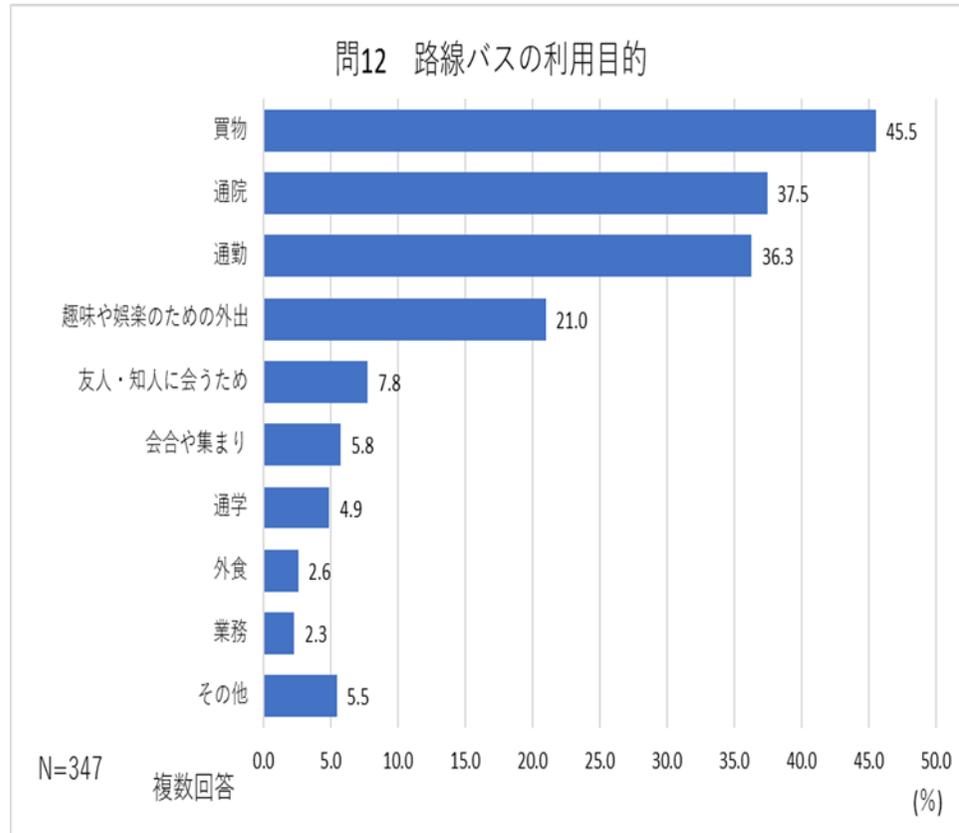
(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】②路線バスの利用（問12 路線バスの利用目的）

最も多い利用目的と2番目に多い利用目的をそれぞれ1つずつ選択

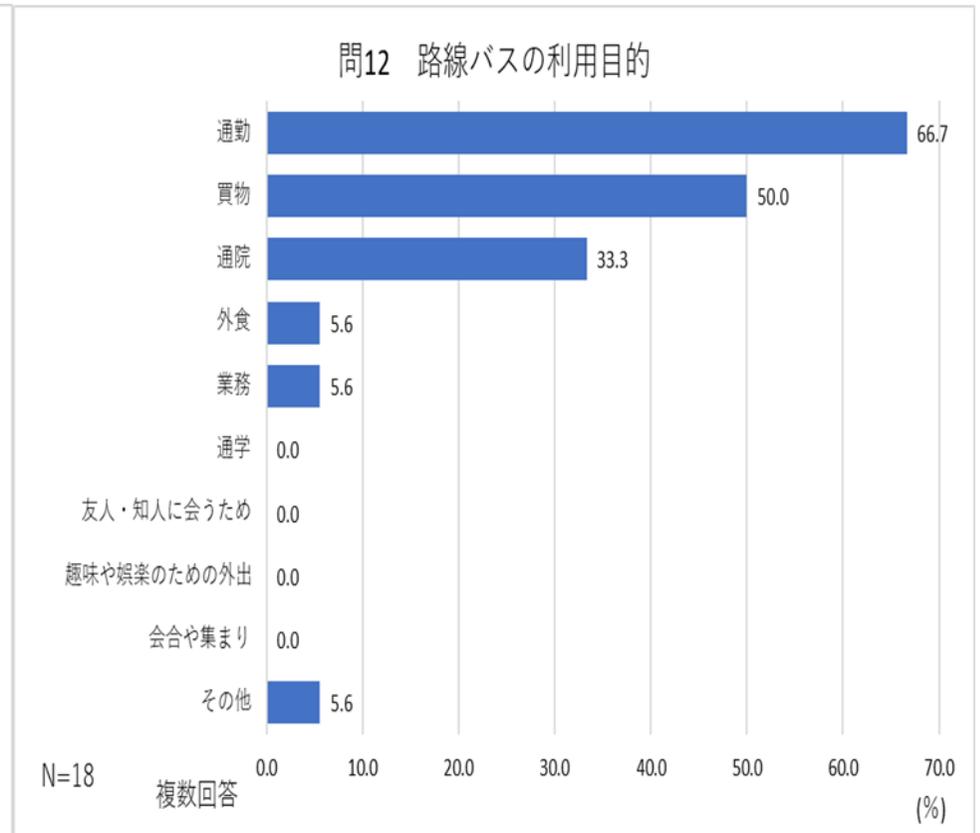
茨城交通路線の利用者

- 回答者の利用目的（複数回答）は多い順に買物45.5%、通院37.5%、通勤36.3%、趣味や娯楽のための外出21.0%



椎名観光バス路線の利用者

- 回答者の利用目的（複数回答）は多い順に通勤66.7%、買物50.0%、通院33.3%

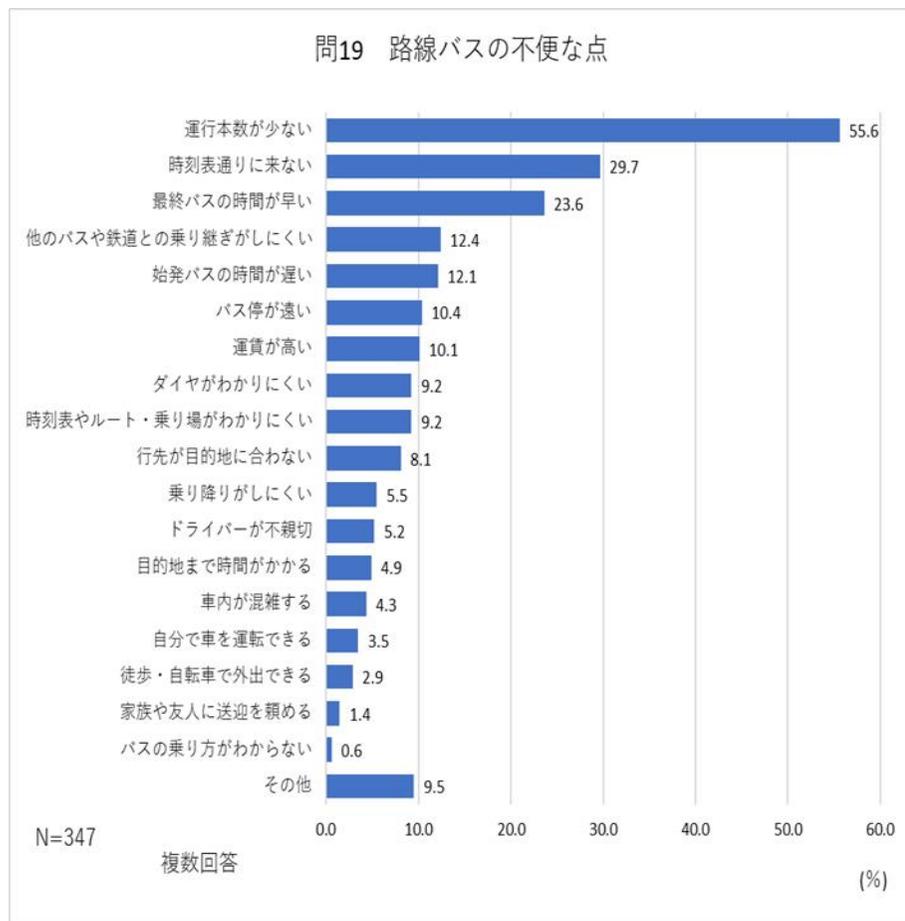


(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】②路線バスの利用（問19 路線バスの利用に当たり不便だと思う点・複数回答）

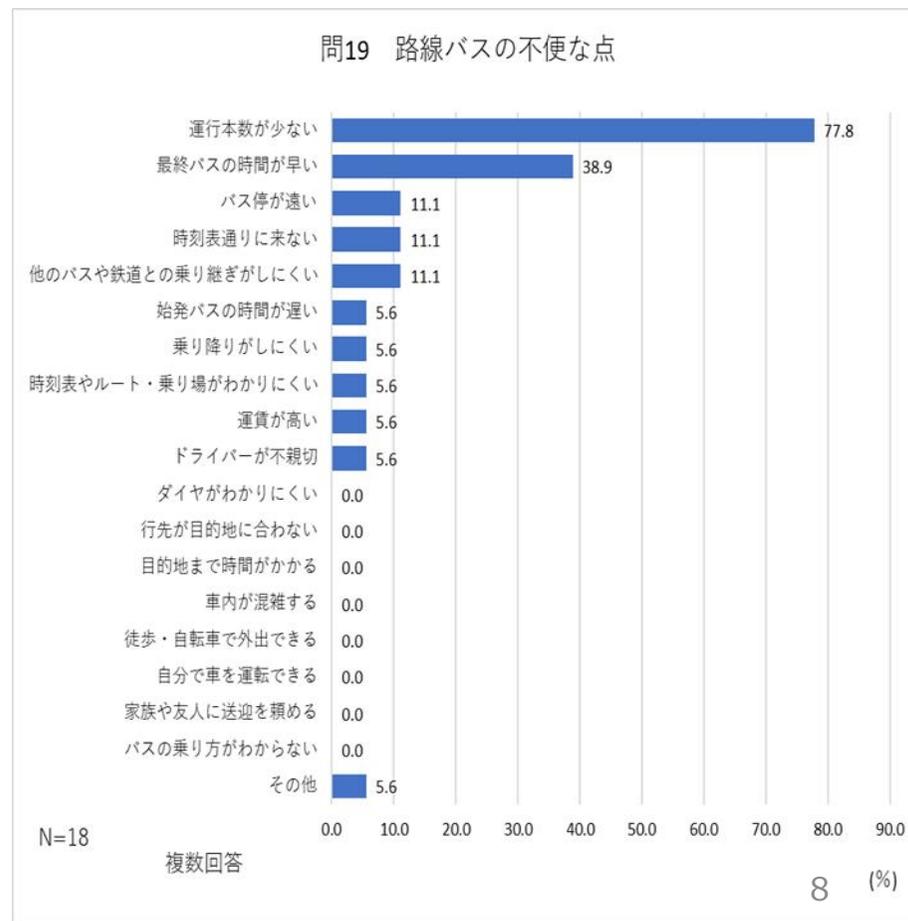
茨城交通路線の利用者

- 多い順に、運行回数が少ない55.6%、時刻通りに来ない29.7%、最終バスの時刻が早い23.6%



椎名観光バス路線の利用者

- 多い順に、運行本数が少ない77.8%、最終バスの時刻が早い38.9%

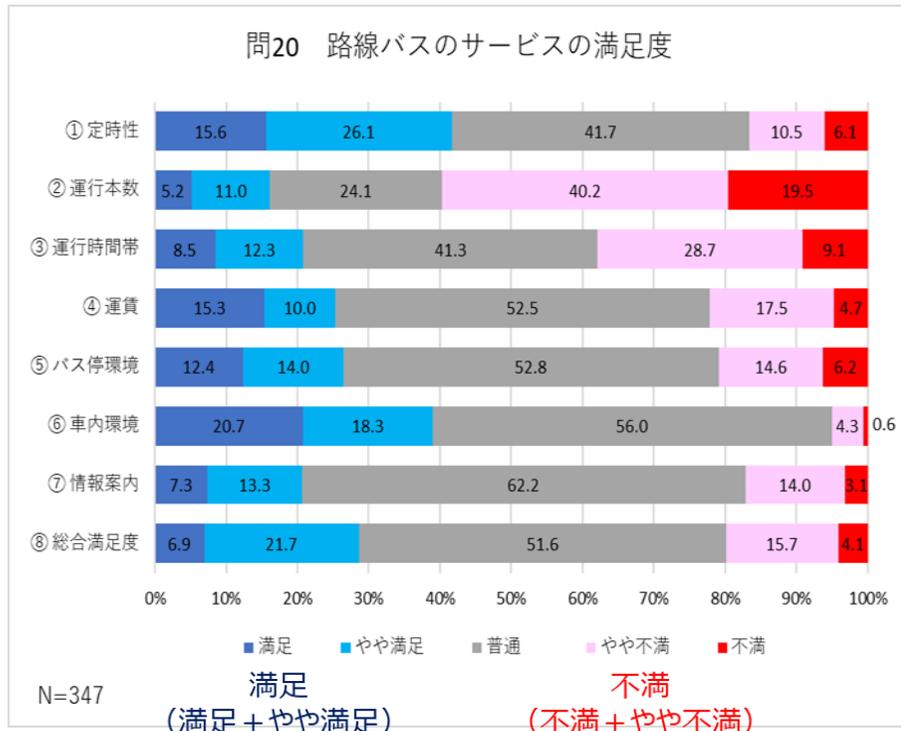


(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【バス利用者アンケート回答と分析】 ③路線バスに対する意見（問20 路線バスのサービスに関する満足度について）

茨城交通路線の利用者

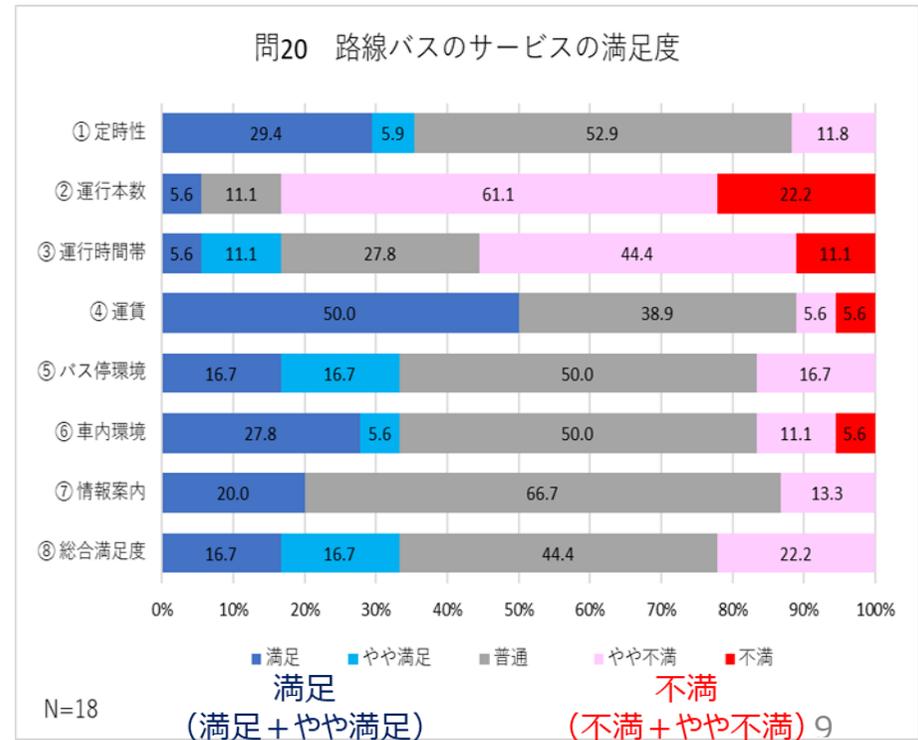
- バスサービスの総合満足度は、満足が不満を上回る
- 項目別の満足度は、定時性、運賃、バス停環境、車内環境、情報案内で満足が不満を上回り、定時性と車内環境で満足と不満の差が20ポイント以上
- 一方、運行本数、運行時間帯で不満が満足を上回る



※無回答除く

椎名観光バス路線の利用者

- バスサービスの総合満足度は、満足が不満を上回る
- 項目別の満足度は、定時性、運賃、バス停環境、車内環境、情報案内で満足が不満を上回り、定時性と運賃で満足と不満の差が20ポイント以上
- 一方、運行本数、運行時間帯で不満が満足を上回る



9

(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【椎名観光バス路線乗降調査】

調査時期	<ul style="list-style-type: none">2022年7月15～16日（平日1日、土曜1日）
調査対象	<ul style="list-style-type: none">調査対象路線を利用するバス利用者
調査対象路線	<ul style="list-style-type: none">椎名観光バスの5路線の全便 いぶき台団地循環線、ソーラーリゾート線、黒坂線、城の丘団地線、鶴の岬線
調査方法	<ul style="list-style-type: none">調査対象路線全便に調査員が乗り込み、各便各バス停の乗車及び降車する利用者の人数を記録
調査期間中 運行便数及び 利用者数	<ul style="list-style-type: none">（平日）2022年7月15日【雨】：運行便数42便、利用者数113人（土曜）2022年7月16日【曇】：運行便数19便、利用者数23人

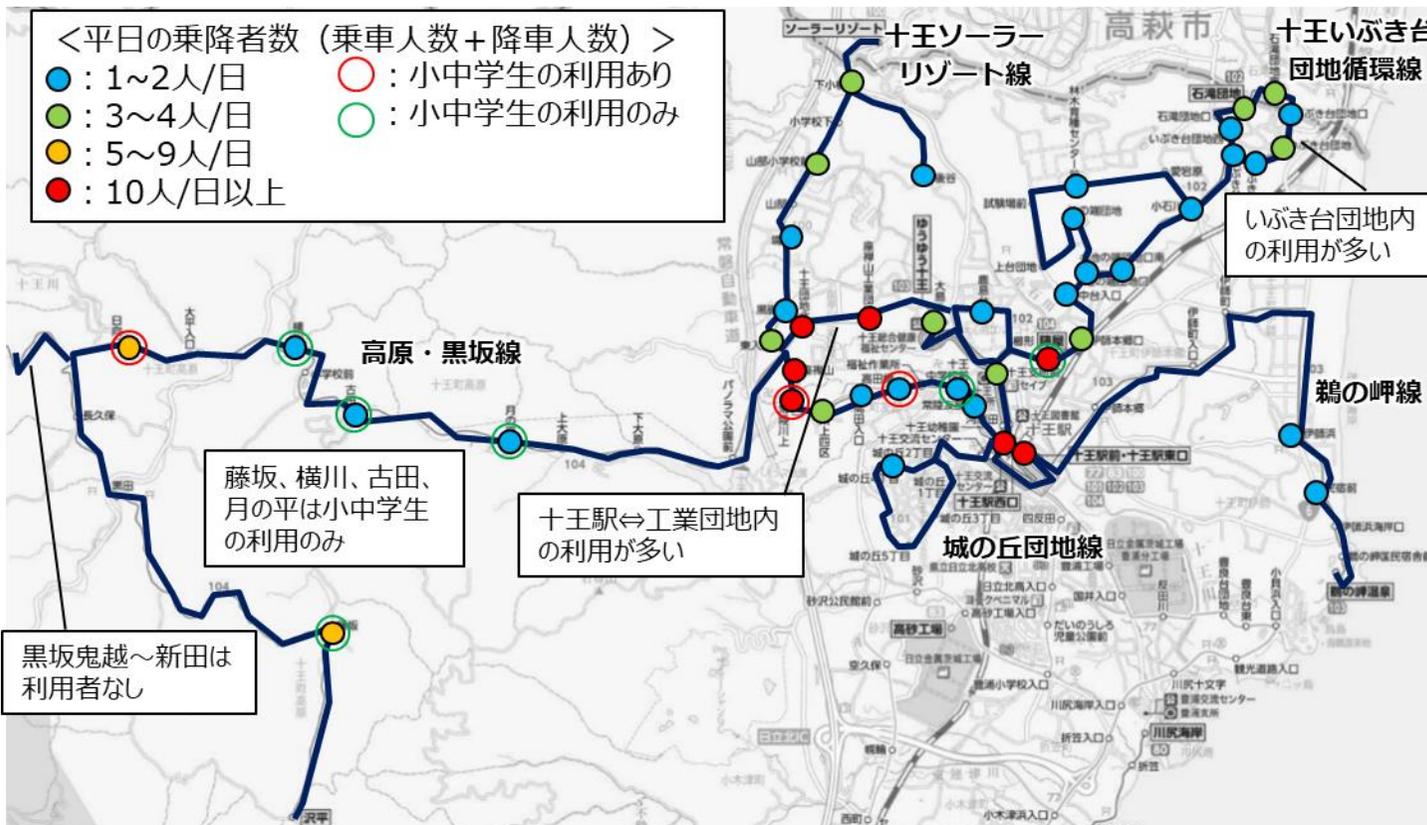
(3) 公共交通利用者の移動需要の把握・分析

【椎名観光バス路線乗降調査】

利用状況に応じた路線バスの運行見直し及びバス再編と合わせた運行形態の在り方検討が必要。

- 十王いぶき台団地循環線は、いぶき台団地内と十王駅を結ぶ利用が中心である。
- 十王ソーラーリゾート線は、十王駅と山部地区内及び工業団地を結ぶ利用が中心である。
- 高原・黒坂線は、小中学生の登下校利用が中心であり、単独区間では日向バス停のみ利用が見られる。
- 鵜の岬線と城の丘団地線は、1日を通して利用が少なく、利用者がゼロの便も存在する。

十王地区のバス停別乗降者数及び便別乗車人数（バス利用者乗降調査「令和4年7月15～16日」 集計結果）



乗車人数	平日	土曜
いぶき台団地循環線	32人	8人
ソーラーリゾート線	往 23人 復 23人	往 3人 復 10人
鵜の岬線	往 2人 復 1人	往 2人 復 0人
高原・黒坂線	往 16人 復 15人	—
城の丘団地線	1人	—

※ 往路：十王駅→各地区
 ※ 復路：各地区→十王駅 11